

## 2024年11月異業種交流会

開催日：2024年11月21日（木） 18:00～20:00

会場：かぶらや総本店

参加者：清水堪蔵(49C)、木村謙之(60W)、鶴岡徹雄(44M)、石川正樹(39C)  
木村一哉(58L)、二宗光文(46M) 合計6名

11月下旬になると日の暮れも早くなり、今年も残り1か月ほどという感じの時期。会場のお店は、名古屋駅の新幹線側から歩いてすぐというロケーションであり、この時間帯、駅構内は新幹線の乗降客でいっぱいである。

今回は久しぶり（ほぼ1年ぶりか）に、石川さんの参加があった。石川さんは以前から「100歳健康長寿」を目標に達成プログラムを作り日常生活を送っていた。その後健康を害して、一時治療に専念されていたが、持ち前の頑張りで克服し、この会にも参加できるようになった。そして今回もその元気な笑顔を見せてくれた。



前日は東海連合支部の見学会で三重県津市のJMU(ジャパンマリンユナイテッド)に行ったこともあり、その話題から話が始まった。かつての日本の技術はどこに行ったんだなどと、日本がトップであった技術がどんどん少なくなり問題であるといった議論に広がっていった。

毎年11月第3木曜日は、「ボジョレーヌーボ」の解禁日であり、毎年ボトルを注文しみんなで乾杯している。今年のボジョレー地区は雨が多く病気の子

防が大変だったようであるが、8月からの晴れの日があり、しっかり完熟した健康なブドウができたようである。

アルコールの意話から話題が広がっていった。愛知県は味噌、酒、納豆、酢等の醸造文化が盛んであるが、地元の人「下戸(げこ)」が多いのではないかという声も上がった。

もともと日本人はアルコールを分解する酵素の活性が弱く、そのためお酒に弱いとされている。こういう遺伝子を持つ人種はどこか。周りを海に囲まれた日本人はどこから来たか。等々話はどんどん広がっていった。

このような様々な話題の飛び交う中で、2時間が過ぎお開きとなった。外に出てネオンが輝き人々がにぎわう雰囲気の中での集合写真もよかろうと、外で撮りました。皆さんの顔も元気があふれています。

